

仙台育英学園

同窓会々報

学園の隆昌と活躍は

同窓生の大きな誇り

仙台育英学園同窓会

会長

小坂信雄

新しい世紀の

さらなる発展のために

仙台育英学園秀光中学校校長
仙台育英学園高等学校校長

加藤雄彦

(1) 第45号
創立五十五周年を迎えた
仙台育英学園は、今年
が特に教育人口の減少化
が大きな問題になつていい
明といえましょ。この証

同窓生各位には各職域
でご活躍のことお喜び
申し上げます。
本会も同窓生各位のご
協力と、母校仙台育英学
園の加藤昭学園長、加藤

雄彦校長の両先生をはじめ
教職員の先生方のご指
導を頂き、円滑な運営と
事業を推進しております。
母校の着実な発展と共に
に新たな時代に向け

石線はご承知のとおり、
地下化工事が今年三月に
完了し、宮城野校舎の南
東の角に近代的な新しい
地下駅が誕生しました。
日々の通学では地下駅で
下車後、校舎に直行する
というふうに変わってい
ます。同窓生の方々がご
観になれば、時代の流れ
といふものを痛感せざ
ります。

同窓生の皆様と共に喜びた
いと存じます。
さて、二十世紀もほん
の数ヶ月を残すのみとな
りますが、本学園では今
一月の入学試験において
九千名を超える受験者数
を数え、高校全日制課程
には約千八百名、三年前
には約千八百名、三年前
の数ヶ月を残すのみとな
ります。これ

より、本学園も二十一世紀
の新しい時代へさらなる
飛躍をそのための準備を
着々と進めています。

同窓生の皆様には、在
校時代の思い出としてJ
R仙石線・宮城野原駅の
風景が心に残っている方
が多いことでしょう。

仙台育英学園は、今年
創立五十五周年を迎えま
す。平成十二年の日本を
見ますと、教育の世界で
は特に教育人口の減少化
が大きな問題になつていい
明といえましょ。この証

が、好不況の影響が少な

いままです。このサテラ

<p

